

## 眼科ローテーション研修目標

眼科疾患および全身疾患の眼症状を鑑別診断し、的確な初期治療と速やかな専門医へのコンサルテーションができる能力を身につける

経験すべき診察法・検査・病態・疾患

### 1．鑑別診断と的確な初期治療をおこなえるために

診断に必要な的確な問診ができる

眼球、眼窩、脳神経の解剖と生理について説明できる

眼科的な診察法ができる

### 2．適切な検査により確定診断がおこなえるために

視力検査ができる

眼圧測定ができる

細隙灯顕微鏡による検査、眼圧検査、眼底検査、眼底撮影について述べ検査に参画できる

屈折、色覚、視野、眼鏡、コンタクトレンズの検査法について述べ検査に参画できる

蛍光眼底撮影（FAG）検査法を述べ検査に参画できる

ERG（網膜電図）の検査法を述べ検査に参画できる

両眼視機能検査、眼球運動検査、斜視弱視検査法を述べ検査に参画できる

超音波検査（Aモード、Bモード）法について述べ検査に参画できる

### 3．鑑別診断がすみやかにできるために経験すべき病態・疾患

屈折異常（近視、遠視、乱視）(B)

角結膜炎 (B)

白内障 (B)

緑内障 (B)

糖尿病、高血圧、動脈硬化による眼底変化

### 4．確定診断に基づき適切な治療・処置ができるように

点眼の仕方、眼軟膏の点入がおこなえる

薬物治療（点眼、眼軟膏、内服、注射）がおこなえる

レーザー治療を説明し治療に参加できる

外科的治療の適応を患者に説明し、治療に参加できるように

A)麻酔（球後麻酔、テノン嚢麻酔、点眼麻酔）を述べられる

B)マイクロサージェリーの基本を述べられる

C)術前・術後処置を述べられる

感染症眼疾患への対応ができる

A)周囲への感染予防がおこなえる

B)器具の消毒法を述べ指示できる

5．眼科救急疾患患者を専門医が診察するまでの予後改善のために

眼外傷の処置と初期治療ができる

急性閉塞隅角緑内障発作の処置と初期治療ができる

急激な眼痛発作の処置、対応ができる

急激な視力低下の検査と診断を行い処置と初期治療ができる